

令和6年第13回花巻市教育委員会議定例会 議事録

1. 開催日時

令和6年11月27日（水）午前10時00分～午前11時14分

2. 開催場所

石鳥谷総合支所 大会議室

3. 出席者（5名）

教育長 佐藤 勝

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 衣更着 潤

委員 熊谷 勇夫

4. 欠席者（1名）

委員 中村 祐美子

5. 説明のため出席した職員

教育部長 瀬川 幾子

生涯学習部長 菅野 圭

教育企画課長 及川 盛敬

学務管理課長 高橋 晃一

学校教育課長 菅野 弘

就学前教育課長 大川 尚子

文化財課長 上野 剛

花巻市博物館副館長 村田 豊隆

6. 書記

教育企画課長補佐 畠山 英俊

教育企画課 総務企画係長 佐藤 伸昭

教育企画課 総務企画係主査 谷藤 聖裕

7. 議事録

○佐藤教育長

只今から、令和6年第13回花巻市教育委員会定例会を閉会いたします。

会議の日時、令和 6 年 11 月 27 日、午前 10 時。

会議の場所、石鳥谷総合支所、大会議室。

日程第 1、会期の決定であります。本日一日とすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長

異議なしと認め、本日一日と決定いたします。

日程第 2、報告事項に入ります。

報告事項は、いずれも花巻市内の学校で発生したいじめに関すること、個人情報案件でありますので、報告は花巻市教育委員会会議規則第 13 条の規定により「秘密会」にしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。よろしいですか。

(異議なし)

○佐藤教育長

ご異議ありませんので、二つの報告案については「秘密会」による報告とすることに決しました。

ここで、少し暫時休憩いたします。

(秘密会のため非公開)

○佐藤教育長

では、再開いたします。

次の事項、「アニメージュとジブリ展」花巻市博物館展について、事務局から報告をお願いいたします。村田花巻市博物館副館長。

○村田花巻市博物館副館長

花巻市博物館から、「アニメージュとジブリ展」花巻市博物館展についてご報告いたします。資料 No. 3 をご覧いただきたいと思います。

花巻市博物館の開館 20 年を記念した特別展「アニメージュとジブリ展」花巻市博物館展を、7 月 20 日から 9 月 23 日まで 66 日間の会期で開催いたしました。この展覧会につきましては、我が国初の本格的商業アニメ雑誌であります「アニメージュ」の果たした役割と、「アニメージュ」を作った人たちが同じ精神でスタジオジブリを立ち上げ、現在まで作品を送り届けていることを紹介する展示会でございます。

展覧会に当たりましては、花巻市、花巻市教育委員会、株式会社テレビ岩手の三者で実行委員会を組織し実施いたしました。66 日間の会期中、7 万 9,720 人のお客様にご来場いた

だいたところでございまして、実行委員会が見込んでおりました目標数、3万5,000人を大きく上回る来場者数となり、事故等もなく成功裏に終えることができたところでございます。

また、本展の開催に併せまして、市内の関係機関・団体等との連携のもと、様々な関連事業を実施したところでございます。詳細につきましては、資料No.3の2ページ目に掲載してございますが、例えば、No.4、オープニングセレモニーにおきましては、地元矢沢中学校吹奏楽部のみなさんに、ジブリ作品の楽曲の演奏をしていただきましたほか、No.8、園児たちのジブリ作品展では、市内の18の保育・幼児教育施設から、園児の合同制作作品を出品いただいたところでございます。さらには、No.9でございますけれども、スタジオジブリの美術監督による背景美術を体験するワークショップ、それからNo.14ですが、宮沢賢治愛用のチェロと、ギター演奏のデュオ・リサイタルを実施してございます。

このほか、戻りますが、No.1、花巻市のコミュニティバス土沢線に、「アニメージュとジブリ展」のラッピングを施したバスの運行、No.6では、市内16の飲食店で、アニメの世界をイメージした食事のメニューの開発と提供をいただいたところでございますし、No.7、イトーヨーカドー花巻店内へのサテライト設置など、多くのイベントを開催いたしまして、市民の皆様、それから観光客の皆様に変大好評をいただいたところでございます。

なお、本展会期中の8月21日には、花巻市博物館の開館以来の入館者が50万人に到達いたしまして、記念のセレモニーを開催したところでございます。

以上、報告とさせていただきます。

○佐藤教育長

只今の報告について、質疑のある方ございませんか。

まずは、おかげさまで盛況のうちに、特別展が行われたということでございます。

質疑を打切ってよろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長

なしと認め、只今の報告に対する質疑を終結します。

次に、新花巻図書館建設候補地比較調査結果について、事務局から報告をお願いいたします。菅野生涯学習部長。

○菅野生涯学習部長

それでは、私から、新花巻図書館建設候補地比較調査結果について、ご説明いたします。

資料No.4に従って説明いたします。資料は2 in 1の印刷になっておりますので、上段が1ページ、下段が2ページとなっております。

1枚目の下段、2ページになりますけれども、ここは比較調査実施の背景ということで、基本構想から書いておりますので説明を省略いたします。

めくっていただきまして3ページ、ここでも基本計画試案の検討ということで、これまで検討会議で整理されたものが書かれておりますので、こちらでも説明を省略いたします。

下の4ページは、新花巻図書館建設候補地の検討ということで、これまでの経緯を書いております。5ページも同様です。10月半ばに比較調査が終わりまして、11月10日から14日まで4地域で説明会を開催してございます。参考として、参加者ですが、複数回参加された方も含め、また、議員の方や報道機関を含めまして、花巻では52人、大迫が9人、東和が25人、石鳥谷が16人と、延べ102人の方にご参加いただいております。

また、11月17日からは、この比較調査結果資料などを用いて、対話を通じてお互いの意見や考え方を共有する市民会議ということで1回目を開催してございます。

3,500人の方にご案内をいたしまして、75人の方から参加を承諾いただくご返事をいただき、1回目の17日は、75名のうち65名の方に参加をいただきました。次回、12月21日、3回目が1月26日、2月に予備日ということで進めていく予定としております。

次に、その下の6ページになりますけれども、今回の新花巻図書館建設工事比較調査の業務概要ということになります。業務の目的は、資料に書いておりますとおり、「新花巻図書館整備基本計画（試案）」を精査するため、技術的な観点から必要な規模や機能等を検証するとともに、建設候補地（2箇所）に係る概算事業費の算定及びイメージパースの作成をするものでございます。

業務の履行期間は、本年1月19日から10月15日まで、大日本ダイヤコンサルタント株式会社盛岡事務所と業務委託契約を締結し、実施いたしました。調査を実施するにあたっての業務の流れとしましては、まずは、新図書館の駐車需要推計をした上で、土地利用計画図や建物の基本計画を検討し、それぞれの候補地に整備した場合の概算事業費を算出し、図書館事業費との比較を行ってございます。

めくっていただきまして、7ページになります。7ページは駐車需要推計ですが、ここに書いております国土交通省の算定マニュアルや経済産業省の指針を参考に、花巻市の実情にあわせて、駐車台数を平日102台、休日126台と算定した上で、花巻市と人口規模が近く新花巻図書館と同規模の図書館を整備した、宮城県大崎市や一関市など、他の自治体の整備事例の平均台数が111台であることを踏まえまして、新花巻図書館に必要な駐車台数の目安を120台としております。

次に、下の8ページになります。ゾーニングプランの検討を行うにあたりまして、駅前については、多目的広場に冬でも雪が積もらないように無散水融雪設備が現在設置されておりますが、建物を3階建てにすると、多目的広場が建物にかからず、多目的広場の融雪施設の改修費が2階建ての場合より低減できますので、2階建てと3階建ての案を検討いたしました。

また、総合花巻病院跡地については、これまでご説明しておりましたが、土盛りをしていない北側部分を中心に建物を建設することとし、つまり北側跡地の北側部分、前に建物があった部分というのは地盤がしっかりしているということで、そこに建物を建設することと

しまして、2階建て以外に1階建てについても検討し、8ページの下の表にあるとおり、12案の配置案を検討しております。

花巻駅前につきましては、花巻まつりにおける山車の出入りや各種イベント、なはんプラザCOMZホールへの大型資機材搬入等の動線を考慮したほか、駐車場については、立体化する場合など、既存の駐車場の場所によって事業費が異なってくるため、複数案を検討した上で事業費を考慮し、この表にあります案⑦-2のイメージパースを作成いたしました。

また、総合花巻病院跡地は、敷地北側の一部や東側の濁堀には、土砂災害防止法と急傾斜地法による指定があり、建物の建築や人の誘導ができないため、上部平坦地内で、図書館本体と芝生広場、駐車場を整備することを検討したほか、宅地造成及び特定盛土等規制法により、建物を建てる場合は法面の改修が必要であり、これらを考慮した場合でも2階建てであれば、図書館や芝生広場を整備した上で、駐車場も敷地内に十分確保できるということで、案①のイメージパースを作成しております。

本概要版では、9ページの下の表に赤枠で囲っている、駅前2階建てで平面駐車場と、病院跡地は2階建ての2案を次のページより掲載してございます。

その他、検討した10案については、参考として巻末に添付してございます。

その下の10ページになりますけれども、これはJ R花巻駅前候補地の土地利用計画図です。新図書館の建物を、現在のスポーツ用品店の場所と、なはんプラザとホテルの間の多目的広場の一部を使って2階建てで建設する案です。駐車場は、図書館の南側、図面では左側に薄紫の色で示してございますけれども、図書館に隣接して38台分の駐車場を新設して、現在の花巻駅南駐車場第2駐車場についても、西側の市道、大通り1丁目プラザ線の一部を廃止して駐車場敷地として使用し、現状よりも60台の駐車台数を増やし、全体として98台の駐車台数を新たに確保するものでございます。紫色の現在あります第2駐車場の駐車台数を増やすというものです。

また、駅前については、既存の花巻駅南駐車場の稼働状況を調査確認したところ、全体の収容力181台に対しまして、日常的に60台程度の空きが見られることから、新たに98台の台数を確保することで、駐車台数をカバーできるとしてございます。

なお、多目的広場の無散水融雪設備については、新たな工事が必要ですが、駐車場を平面で整備することから、事業費は比較的定例になるということで、そういう計画になってございます。

総事業費は、J R東日本からの土地購入費と既存建物の解体費及び線路保守管理用の入口設置費を計上し、約39億9,000万円となっております。

次に11ページになりますが、総合花巻病院跡地の土地利用計画図になります。新図書館の建物を、跡地の盛り土をしていない北側、図面では右側、北が右側になりますが、急傾斜地等の法規制がない場所に、東側斜面との間に管理用通路を整備した上で、2階建てで建設し、南側部分を駐車する案になってございます。駐車場は、建物の南側に118台新設でき、芝生広場も建物に隣接して整備するものですが、北側や東側斜面は急傾斜地崩壊危険区域

及び土砂災害警戒区域となっており、現状では、建物を建てることはできず人の誘導も制限されます。赤の点線で囲ってある部分や赤紫の色がついている部分がそういうところになりますけれども、また、東側斜面は花巻城の濁堀であり、新たに樹木を植えたりすることはできませんが、保護保全のために芝生等で緑化する案となっております。

総事業費は、法面保全のための造成や法面緑化の経費を計上した上で、約 36 億 3,000 万円となっております。

その下の 12 ページは、土地利用計画図をもとに作成した J R 花巻駅前候補地の 2 階建てのイメージパース外観で、北側から見た鳥瞰図、13 ページの方が、南西側駐車場から見たハイレベルの図となっております。これらのイメージパースは、あくまで現段階でのイメージとして描いたものですので、今後、設計に入ると変更されてくるというものでございますのでご了解願います。

16 ページから 23 ページは、現在まで検討を進めてきました新花巻図書館整備基本計画試案をもとにした、新図書館の内観のイメージパースとなります。これは建物内観ですので、どちらの建設候補地も同じです。エントランスやカフェラウンジ、レファレンスコーナー、一般開架、子どもスペース、スヌーズレン等に対応したスペース、講座、集会、多目的ギャラリー、学習コーナー、賢治・先人・郷土コーナーをページごとに記載してございます。こちら、あくまで現段階のイメージとして描いてもらったもので、外観を含めまして、今後設計により変更となるので、参考として挙げているものでございます。

24 ページになりますけれども、今回の調査で算出した事業費の内訳表になります。図書館本体の建設費の財源につきましては、立地適正化計画で定めた都市機能誘導区域内に都市再生整備計画に基づく都市構造再編集集中支援事業として実施される、誘導施設及び公共公益施設の整備について、補助率 2 分の 1 という極めて有利な補助金の活用を見込み、残りの 95% は、合併特例債を活用することと考えてございます。

今回の比較調査において算出した候補地ごとの事業費を見ると、共通の測量及び調査費や設計費、外構工事及び建設工事のほか、J R 花巻駅前については、駅前の多目的広場の無散水消雪施設の改修費や J R 東日本からの土地購入費と既存建物解体費、線路保守管理用入口設置費を含めて、先ほど申し上げましたとおり、総額 39 億 9,000 万円となっております。その財源は、国庫補助金である「都市構造再編集集中支援事業」の対象経費 30 億円の 2 分の 1 で 15 億円、39 億 9,000 万円から補助額を除く 24 億 9,000 万円が、市の形式的な負担額となっております。市の形式的負担額の 24 億 9,000 万円のうち、充当率 95% の合併特例債を活用した場合、合併特例債の返済額の 70% の 16 億 5,000 万円が、国から交付税措置されるため、市の実質負担額は 8 億 4,000 万円となります。この図でいうと、黄色い部分が国からのお金で、水色の部分が市の実質負担額というようになってございます。

総合花巻病院跡地については、共通の測量及び調査費や設計費、外構工事及び建築工事のほか、北側及び東側斜面保全のための法面小段造成や緑化等の費用を含めて、総額 36 億 3,000 万円となっております。その財源は、国庫補助金である「都市構造再編集集中支援事業」

の対象経費、30 億円の 2 分の 1 で 15 億円、36 億 3,000 万円から補助額を除く、21 億 3,000 万円が、市の形式負担額となっておりま。市の形式負担額の 21 億 3,000 万円のうち、充当率 95%の合併特例債を活用した場合、合併特例債の返済額の 70%の 14 億 1,000 万円が国から交付税措置されるため、市の実質負担額は 7 億 2,000 万円となります。

繰り返しますが、J R 花巻駅前の場合、市の実質負担額が 8 億 4,000 万円で、総合花巻病院跡地の場合、市の実質負担額が 7 億 2,000 万円ということで、1 億 2,000 万円の差が出ているということになってございます。

資料の 25 ページにつきましては、参考として先ほど申し上げた国の「都市構造再編集集中事業補助金概要」を添付してございます。

それ以降につきましては、先ほど申しました、検討した土地利用計画図について参考添付してございます。

新花巻図書館建設候補地比較調査結果については、急ぎ足になりましたけれども、説明は以上でございます。

○佐藤教育長

候補地の比較調査結果についての概要を説明いただきました。たくさんの中容がありますけれども、この点について質疑のある方、お願いいたします。役重委員。

○役重委員

候補地の検討と財源を含めた事業規模、整備費の検討ということで、こちらについては、もう何年間も検討されてかなり詰まってきたいるでしょうし、お任せをして大丈夫だと思っているのですが、お聞きしたいのは、11 月 17 日から始まっている市民対話の会、第 1 回が 65 名の参加があったということで、こちらの議論の状況内容と今後、どういうふうに展開していくかという見通しについて、お伺いしたいと思います。

○佐藤教育長

菅野生涯学習部長。

○菅野生涯学習部長

市民会議について、参加者は、先ほど申し上げましたとおり 65 人です。参加者はあらかじめ年代ごとに 11 グループに分け、グループごとに話し合いを行っています。

内容としては、初回ですのでファシリテーターの紹介やルール説明等を行った後に、最初の対話として、自己紹介や自分にとっての図書館というテーマで話し合っていました。その後、市から現状説明や比較調査の結果を説明し、質疑応答をした上で、グループ毎に 2 つの候補地のメリット・デメリットということで話し合っていました。

その後、1 人を残し、席替えをして、他のグループの意見を共有し、またグループに戻り、他のグループの共有後の意識の変化についてグループ内で共有しています。

その後、代表 4 グループからグループ内の意見について、発表していただきました。この内容については、メリット・デメリットについては、1 回目でもまだ深く理解していないという部分もありますので、今後、検討を重ねていくということで、全会議が終了後に公表する

予定としております。

今回は、1回目を踏まえて、意見の深堀や整理を進めていきたいと考えていると伺っています。また、12月21日、少し寒い時期ですが、実際に2つの候補地を歩いて見てみるということも企画してございます。以上です。

○役重委員

無作為抽出ということなので、手挙げで参加をしたとはいえ、やはりこの内容とかテーマについて、そもそも何も知らない、あるいは、ほとんど関心がないという方から、かなり関心を持っているという方まで様々だったのではないかと思います。そうした中でこの案を見て、メリット・デメリットを話し合うという、かなりハードルの高い作業だったと思うのですが、その辺りは理解が進んで、こういうことを我々が話し合っているのだと、対話のインフラに相当する部分は、予定どおりというか評価としてはうまく進んでいったと捉えていらっしゃると思いますか。

○菅野生涯学習部長

会議終了後に行ったファシリテーターの打合せでは、参加者が「自分は、最初は駅前の方がいいと思って来たけれども、違う意見もあるということを理解した。」とか、「席を移動したときに、若い人たちはこういうふうを考えているとか、歳をとった人たちはこういうふうを考えているとか、年代の差も見えたりして、多様な意見があるということを理解した。」などの発言があったという感想を述べていたとのこともあり、もちろん最初にどちらがいいという感じで会議に参加した人もいます。

○佐藤教育長

他にございませんか。衣更着委員。

○衣更着委員

事業費の内訳で、当然、駅前だと用地費というのが掛かっていますけれども、この②というのは、説明の文章がどこかにあるのでしょうか。

○菅野生涯学習部長

駅前については、10ページに配置案ということで、土地利用計画図を記載しており、また左下に、事業費の概要を載せてございます。この表の下から3番目の欄に、用地費ということで1億3,000万円、鉄道保守管理用道路切替費を記載しており、この部分がJR東日本に支払う費用になっております。また、既存の建物の解体経費も計上しております。

一方で、総合花巻病院跡地、先ほどの用地費は、花巻病院は既に取得しているということで、この表の中ではゼロとしてございます。

○衣更着委員

ありがとうございます。

あとは、合併特例債等々、国庫補助額と一緒に、この形式負担額っていうのは、この右の黄色と青の割合を足した額ですね。

○菅野生涯学習部長

市の形式負担額は、総事業費から国庫補助金を引いた額になります。この形式的負担額は24.9億、市の負担になるのですが、その分を合併特例債とする。合併特例債の返済額の70%、J R花巻駅前であれば、この黄色い額が戻ってくる額ということで、実質、それを引くと青いところが市の実質負担額ということで整理しております。よろしいでしょうか。

○衣更着委員

わかりました。

○菅野生涯学習部長

後から国の方から交付税措置されるということで戻ってきますので、実質的には8.4億円の負担になりますよと、花巻病院跡地につくった場合は、実質負担額7.2億円になりますよと、あくまで現在の概算での数字ということで、ご理解いただければと思います。

○佐藤教育長

他にございませんか。

駅前で例えば、2階、3階という案もあるのだけれど、それでも金額的には、最終的には39億円で変わらないということですか。お願いします。

○菅野生涯学習部長

建物の事業費につきましては、これまでの他市の事例などから算出した単価を参考に算出しています。現時点での試算では、2階も3階も建設費は変わりません。ただ、やはり2階と3階だとその一つのフロアの広さが違ってきますので、そうすると広い2階建ての方が使い勝手がいいなということで、3階建てよりも2階建てを選択して、お示ししているというような中身になってございます。

総合花巻病院跡地については、一定の土地の広さがありますので、1階にすれば広い敷地、広いフロアということになりますが、他の外側の土地に、駐車場とかに影響が出てくるということで、やはり2階建ての方が使いやすいということで、1階建てではなくて2階建ての方を選択してお示ししております。

その他、駅前は例えば、立体駐車場にするとか、そういうことも含めて考えてございますけれども、やはり立体駐車場にすると経費が大きくなると、さらには、やはり立体駐車場は嫌だっという声も聞いているので案から外して、2階建てで平面駐車場という案でお示ししたという中身になってございます。

たくさん案を考えて、駅前の方がやはり駐車場の考え方とかございましたので、検討する案は多かったのですが、やはり先ほど申し上げた2階建て平面駐車場というのは、その中で経済的にも使い勝手も一番良い案ではないかということで、選択してお示したところです。

○佐藤教育長

実施設計費は入っていないですね。

○菅野生涯学習部長

実施設計は、左下に掲載している一覧の「計画及び設計費」に計上しています。

○佐藤教育長

あとは、説明会では本当に場所だけの問題でここまで絞り込んだのだけれども、例えば、利用者の利便性とか、それから周辺施設との連携とか、そういった観点でも説明はされているということですか。

○菅野生涯学習部長

説明会では、あくまで事業費と配置図で比較してということで、利便性というのは、先ほどフロア、利便性が良くて2階建てにしましたと申しましたが、それぞれ感じるところは違うと思いますので、そのような部分を市民会議の中で、考えていただくものと考えております。

○佐藤教育長

抽出3,500人、その中で参加者が75人。残る人たちにもフォローして、例えば、アンケートとかを取っていくということは、やらないのですか。

○菅野生涯学習部長

それは考えてないです。あくまで、参加いただく75人の方と話し合っていきたいと考えております。

○佐藤教育長

他にございませんでしょうか。
質疑を打切ってよろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長

それでは、なしと認め、只今の報告に対する質疑を終結いたします。

次の報告、教育委員会関連行事につきましては、お手元に配付いたしました日程表によりまして、報告に代えさせていただきます。

以上で、本日の議事日程を終了いたします。

本日の教育委員会議は、これをもって閉会といたします。大変ありがとうございました。